

北条高等学校

PTAだより

令和2年8月26日
愛媛県立北条高等学校
印刷 (株)松栄印刷所



ご挨拶

PTA会長
得能 朝雄

新入学生を迎えた春から夏へと季節は一步一步移っています。本来であれば、これまで仲間と共に汗をかき、涙を流し、共に研鑽し、努力を積み重ねてきた子どもたち一人一人の活躍や成果の発表の舞台である、総合体育大会や地区予選、コンクールの結果に一喜一憂するはずが、目に見えないコロナウイルスの影響で中止になりました。子どもたちの心の葛藤、虚脱感に対して、共に寄り添い、言葉をかけていただいた保護者の皆さんへの感謝の気持ちと共に、止まった時を動かし、更なる一歩を歩み始めています。また、子どもたちに新たな目標と指針を示していただいている校長先生はじめ教職員の方へ感謝いたします。

さて、私たち保護者も生徒である子どもたちも一日の時間、一年の時間は同じです。高校生活の三年間であれば、一、〇九五日であり、二六、二八〇時間です。同じ時間を所有しているのですが、より濃密



コロナ禍の中で

校長
森田 桂子

で、熱量の大ききで比較すると圧倒的に子どもたちの時間に軍配が上がります。なぜなら、身体的にも、精神的にも高校生活の三年間での成長が著しいからでしょう。言葉を換えれば、人間力、生きる力が大きくな

保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動について、御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。御承知のとおり、令和二年度は新型コロナウイルス感染症とともに幕が開きました。入学式・始業式は挙行できたものの、その三日後から再びの臨時休業。生徒たちは各教科から出された多くの課題を持ち帰り戸惑いの日々を過ごしたと思いま

り、人として激変します。どこかで目にした言葉ですが、「学ぶということとは変わるからだ」という一文がありました。少しの偶然と縁が重なり、北条高校の門をくぐり、先生方から教養育まれ、仲間と共に響き育み、保護者の皆さんと共に育む、教育は響育であり共育だと思えます。多くの人との関わりの中で学び、成長している、今を生きる子どもたちにPTAとしてエールを送り、全力でサポートしていきましょう。

す。当初から学校ホームページを活用して生徒への諸連絡を行いました。が、学校ホームページは回線の関係で開くことができない場合があることや、一方通行の情報提供になることから、双方方向通信を行うため、各年次・各ホームルーム単位で「Google Classroom」を開設しました。各教科では、動画やパワーポイントを活用しながら遠隔学習の教

材を作成し、生徒が視聴できるように研究を進めました。ただ、家庭でのネット環境には個人差があり、配信した教材を自由に見ることができない生徒もいることから、その場合は、学校のタブレットを希望者に貸出し、校内で視聴する体制を取りました。近い将来、生徒が一人一台のタブレット端末を持ち、ICTを活用した遠隔教育が当たり前の教育環境になることが考えられます。今後を見据え、全国状況にもアンテナを張りつつ、ICT環境の充実と教員の授業力・技術力の更なる向上を図っていくとともに、生徒たちにはどんな状況にあっても自分で学びを続けていける力を育てていきたいと思います。

また、今回のコロナ禍の中で、本校の校訓「自律 創造 敬愛」の大切さを改めて実感しています。自ら学び考え行動できる「自律」、自分を含め家族や仲間を思いやる「敬愛」、そして、今とつながる未来を自ら切り拓いていく「創造」です。私たち教職員は、これまで誰も経験したことのない状況の中で、いろいろな思いを胸に高校生活を送っている生徒たちに寄り添い、校訓の教えに根差した生徒の育成に力を注いでまいります。先が見通せない状況が続く中、未だ不安や心配は尽きませんが、北条高校として生徒・教職員が丸となり、Gの力を伸ばし、Weの世界を広げたいと強く願っておりますので、どうか、御理解・御協力をよろしく願いたします。

最後になりましたが、兵頭慶子前会長様並びに旧役員の皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

学校での取組とこれからの主な学校行事について (予定)

北条高校の感染拡大防止の取組

<p>1 毎朝、健康観察を実施します</p> <p>①自宅での検温結果を生徒手帳に記入し、SHRで担任が確認します。 ②教職員も毎日、検温等の体調チェックを行います。 ※学校に非接触型体温計を準備しています。</p> 	<p>2 教職員は、マスク着用のうえ、フェイスシールドを活用するなど、飛沫拡散防止に努めて授業を行います</p> 	<p>3 換気を徹底します</p> <p>教室等は窓を開放し、閉める場合は1時間に一度の換気を行います。 エアコンを使用する場合も、出入口を開放します。</p> 
<p>4 「密閉」「密集」「密接」の3つの「密」を避けます</p> <p>①接触や間近での会話、発声を避けるよう指導します。 ②昼食は、自席で前方を向いてとるよう指導します。 ③学校行事を見直し、大人数での活動を控えます。</p>	<p>5 手洗い、咳エチケット (マスク着用等) を徹底するよう指導します</p> 	<p>6 毎日、教室やトイレ等の共用部分 (ドアノブ・スイッチなど) の消毒を行います。</p> 
<p>7 手指消毒用アルコールを校内各所に設置します</p> 	<p>8 感染症を理由としたいじめや差別が生じないよう啓発します</p> <p>北条高校人権委員会キャラクター「しかしかちゃん」</p> 	<p>9 生徒の学習支援や心のケアに努めます</p> <p>学習面でのフォローだけでなく、生徒一人一人に寄り添った指導・支援を行います。</p>

《うつらないよう自己防衛!》《うつさないよう周りに配慮!》《習慣化しよう3密回避!》

- 4月14日(火)～ 新型コロナウイルス感染症による休校措置
- 5月11日(月)～ 分散登校開始
- 5月25日(月)～ 完全登校開始・部活動再開
- 6月22日(月)～ 通常活動開始・部活動通常活動再開
- 7月31日(金) 1学期終業式
- 8月26日(水) 2学期始業式
- 9月24日(木) 体育大会
- 10月21日(水) 2年次修学旅行
～23日(金)
- 11月6日(金) 文化祭

第21回吹奏楽部定期演奏会

令和2年9月20日(日) 松山市民会館大ホール

吹奏楽コンクールが中止になり、私たち44名にとっては全員で立つ初めての舞台になります。今、しんどい時だからこそお互いが支え合い、士気を高め合って練習に励んでいます。ポップスからクラシックまで幅広い選曲で、工夫を凝らし、皆様の心に響くように演奏したいと思っています。

※新型コロナウイルスの感染状況により、変更される場合があります。

系列の選択について

2年次より、コース及び系列を選択します。保護者の方から、わかりづらいという御意見をいただきましたので、簡単にまとめました。本校は総合学科のため、選択科目が多数ありますので、詳細につきましては学校ホームページをご覧ください。

希望進路に応じて、2つのコースから6つの系列に分かれます

希望進路	コース名	系列名	主となる教科・科目
文系4年制大学	文理コース	①人文科学系列	国語・英語・地歴など
理系4年制大学		②自然科学系列	英語・数学・理科など
短大、専門学校就職	総合コース	③情報ビジネス系列	商業科目 (簿記など)
		④生活科学系列	家庭科目 (調理など)
		⑤生活福祉系列	福祉科目
		⑥芸術系列	芸術科目 (音楽、美術、工芸、書道)

- ※ 開設科目は100科目以上。本校でしか学べない科目 (ハンゲル、愛媛学、現代文研究、数学探究A、レクリエーション、実用の書など)
- ※ 各種資格を取得し、進学や就職、将来の学びに生かすことができます。

グループ結団式・グループマッチ

令和2年度 生徒会活動テーマ「飛翔 ～そのさきへ～」



各グループ長へグループ旗授与



同窓会寄贈の学校旗披露



書道パフォーマンスの完成作品披露



吹奏楽部と書道部によるパフォーマンス

同窓会長挨拶

同窓会長 山本 智紀

二十年前に入学し、一年次「隼」、二年次「颯」、三年次「鳳」に所属して、皆さんと同じように、ここで汗を流しました。人の一日の時間は八時間×三回に分けられます。自分で自由にできる八時間の努力次第で、道を切り拓いていくことができます。これからもコロナで苦しい時期が続くと予想されますが、心を一つに乗り越えていきましょう。ここに、新しい学校旗と三色のグループ旗を同窓会から贈ります。大切に使ってください。また、これから入ってくる後輩に誇れる北条高校を作り上げていってください。

(グループ結団式に先だって)



去る七月二十七日、グループ結団式及びグループマッチが行われました。結団式のセレモニーでは、吹奏楽部と書道部によるパフォーマンスの後、今年是三グループに分かれて、バレーボール、サッカー、卓球、ポッチャなどの競技が行われ、「鳳」が総合優勝を果たしました。これから、年間総合優勝を目指し、グループが熱く競い合います。

「隼」グループ長(赤) 福田龍之介

「颯」グループ長(緑) 越智 太陽

「鳳」グループ長(紫) 久保田涼雅

With コロナに思う

(生徒の声から)



作画：金井 春樹



感染対策をして授業中

〇三年次生

◆このコロナ禍で、自分が就きたいと思っている職に就けるのか、そして、これからの日本は、世界はどうなっていくのかとても不安である。人々の命を守ることが最優先だが、今のままでは各県への移動もなく、その影響で経済も崩れてしまう。その点を考えると、コロナウイルスと共存していくことはとても難しいことだ。しかし、今は、私たちにできるベストを尽くし、少しでも早く終息することを願うばかりである。

◆高校生活最後の一年。ウイルスは全てを変えてしまった。正直、今でも許せない。だが、私たちは前を向いて歩いていかなければならない。明確な目標が一瞬で崩れてしまっても、また創ることができると信じて、今こそ私たちは協力して励まし合って歩いて行こう。自分自身で考えることを考えよう。

◆今まで行ってきた形にとらわれず、新しい形に変化させ、それに対応していかなければならないと思います。生活様式が変わるのは少し怖いし、不安ではあるけれども、周りの人、自分、家族のために、これからのコロナ対策をしっかりとしていきたいと思っています。

◆入試などどうなるか分からないため、臨機応変に対応することと、物事を冷静に受けとめることを心がけ、本番で最善を尽くせるように頑張りたい。

〇二年次生

◆コロナウイルスは世界各国で猛威を振るっているが、一方で私たちとは関係の無い、遠いところの存在だと思ってしまうこともある。そう思えるのは医療従事者の皆さんの頑張りがあってからだ。私は心から感謝し、同時に自分自身でできる予防対策は精一杯やろうと思う。コロナウイルスが私たちに与えた影響は大きい、今こそ私たちが心の手を取りあい前に進んでいく必要があると思う。

◆コロナウイルスが流行している今、感染の不安や偏見から、軽度の症状が出ても病院での受診をためらってしまうことがあるかも知れません。そのようなことを起こさないためには、「感染しない」「させない」ことが大切だと思います。感染を防ぐためにも周りの人への配慮や思いやりをもって、自分が今できることを行い、コロナウイルスの拡大防止を

〇一年次生

◆生まれて初めて、世界的問題を肌で感じたのが、新型コロナウイルスでした。コロナウイルスによって奪われた時間や命が確実に増加している中、私たちはこれから、「with コロナ」の季節を歩んでいきます。各々ができる限りの感染対策を行い、コロナウイルスとの共存・共生を目指します。一学期間、臨時休業で本来予定されていた行事も、学ぶはずだった勉強も、その他高校生活の大切な時期を失った私たちですが、この経験を今後の人生の糧にしようと思います。この時代に生きていなければ得られなかったことが、この

数か月間にたくさんありました。物事に対する柔軟性、次へのシフトの大切さを知った今ならこの経験は無駄ではなかったと言えます。収束の先の終息を願いつつ、日々予防に取り組みようと思います。

◆恐れるべきなのは、SNS上上がったコロナの情報から偏見や差別が生まれ苦しむ人が出る可能性があることです。私たちができることは、感染予防だけではなく、冷静に事実を確かめ、募金活動などの支援や、ネット上に前向きな書き込みをするなどいろいろあります。大人だけではなく私たちが若者もしっかりと取り組んでいく姿勢が必要です。

行っていきたいと思っています。ワクチンができてコロナウイルスが収まるまでみんなで頑張ります。

◆現在日本では三万人近くの感染者が確認され、より深刻な第二波が現実視される中、私たちはできる限りの注意と、最善の方法を見つけないけません。現時点では、飛沫感染と接触感染の二つの経路が考えられ、基本的な予防として「三つの密」を避けることが重要視されています。いっどこで感染するか分からないのが一番怖いので、自分の足跡も記録して、行動を見直したいです。

◆ニュースでは毎日、感染者や亡くなった人のことが報道されています。しかし、「全部コロナのせいだ」と批判するのは間違いだと思います。「新型コロナウイルスは、こういうものだ」とまず正しい情報を確認し、正しい対策をとることが大切だと思います。